

令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立袋井特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立袋井特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	331人

1. 使用状況

寄贈物品名	屋外複合遊具
使用学年及び人数	小学部1～6年 133人
使用頻度	晴れた日のほぼ毎日
使用状況	主に昼休みに小学部の児童が使用しています。常に3人ぐらいの児童が滑り台を滑ったり、クライミングウォールを登ったり、滑り台の上で風を感じたりと、思い思いの遊び方で楽しんでいます。
物品の使用による変化や効果	遊具が少なかった小学部の遊び場「光る子広場」の中央に設置され、子どもたちは、天気の良い日は、この複合遊具で遊ぶこと楽しみにしています。はじめは、クライミングウォールを登る子どもは少なかったのですが、友達や教員の様子を見て、チャレンジする子どもが増えてきました。手順や足の配置などを考えながら登っていく姿が見られるようになりました。また、友達と追いかっこをするように繰り返し滑り台を滑ったり、上から友達を呼んだりと自然な関わりが生まれました。
今後の活用の見通しや課題	「今日もくねくね滑り台で遊ぼうね！」などと、子どもたちが毎日外遊びを楽しみにできるように活用していきたいです。運動機能の向上だけでなく、順番を守ったり、友達が滑り台を滑り終わるまで待ったりするなど、きまりを守って友達と安全に仲良く遊べるように指導していきます。
その他希望や所感など	知的障害のある小学部の子どもたちの心身の発達にとって、外遊びや体を使った遊具遊びは、とても大切なことであると感じています。

2. 活用の様子



「わーい！たくさん遊ぶぞ！
楽しいな！」
天気の良い日はたくさん体を
動かして遊んでいます。

